

単位数	2 単位	学科・学年・学級	第2 学年・芸術選択
教科書	高校生の美術 2 (日本文教出版)	副教材等	

1 学習の到達目標

美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1 学期	4	●人物画を描こう 【表現 絵画 鑑賞】	・主題決定	・有名な人物画の作品を鑑賞して、表情や構成での内面表現の工夫を理解する。	・活動の様子 ・提出作品 ・鑑賞ワークシート
	5		・画材研究、制作	・鉛筆で濃淡を描き分ける練習をする。 ・構成を意識しながらスケッチブックに下書きをスケッチする。	
	6	●コラージュしてみよう 【表現 デザイン 鑑賞】	・作品鑑賞	・スケッチの構想を参考に、人物をよく観察しながら作品を制作する。 ・作品展示を行い、お互いの作品を鑑賞し良さを認め合う。	・活動の様子 ・提出作品 ・鑑賞ワークシート
7	・単元理解		・有名コラージュ作品をみて技法の多様性や創造性を理解する。 ・新聞を素材にコラージュ作品を作る。 ・自然物を素材にコラージュ作品を作る		
第2 学期	9	●はりこをつくらう 【表現 彫刻 鑑賞】	・単元理解	・はりこに対しての知識や歴史を学び理解する。	・活動の様子 ・提出作品 ・鑑賞ワークシート
10	・構成		・身近な素材の中から各自でモチーフを選ぶ。 ・モチーフを様々な角度から詳細に観察し、スケッチブックに描いて特徴をつかむ。		
第2 学期	11	●消しゴムハンコで手紙を送ろう 【表現 彫刻 鑑賞】	・制作	・和紙を用いてリアルな立体を造形する。 ・地塗りをして、アクリル絵の具の特徴を生かしながら実物に近い質感を作り出す。	・活動の様子 ・提出作品 ・鑑賞ワークシート
			・鑑賞	・作品展示を行い、お互いの作品を鑑賞し良さを認め合う。	
			・単元理解	・版画の技法である凸印刷と凹印刷の違いをよく理解し、消しゴムハンコのよさを知る。	・活動の様子 ・提出作品 ・鑑賞ワークシート
			・制作	・デザインナイフの使い方を知り、壊れにくい消しゴムハンコの形を理解する。 ・デザインを考え、色や形の計画を立てながらスケッチする。	

			・鑑賞	・試作を作り構図を見直しながら本制作を行う。 ・作品展示を行い、お互いの作品を鑑賞しよさを認め合う。	
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	●シルバーリングをつくろう 【表現 彫刻 鑑賞】	・単元理解 ・制作 ・鑑賞	・装飾品の歴史を学び、様々な用途や様式を理解する。 ・デザインを元に油粘土で形を作り、それを元にデザイン画を完成させる。 ・型取りや鉄の流し入れ等の制作手順を理解し、ひとつひとつの作業を丁寧に行い作品を制作する。 ・型取りされた作品をピカールを使って磨き、仕上げ作業をする。 ・作品展示を行い、お互いの作品を鑑賞し良さを認め合う。	・活動の様子 ・提出作品 ・鑑賞ワークシート

3 評価の観点

知識・技能	創造的な美術の表現をするために必要な知識や技能を身に付け、意図に応じて表現方法を工夫して表している。
思考・判断・表現	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。
主体的に学習に取り組む態度	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心をもち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。

4 評価の方法

評価の材料等を評価の観点に照らし合わせながら総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

単純な上手、下手などは成績に関係ありません。個性を表現する力や諦めずにやりきる努力を見ていきますので、最後まで集中して作品を制作していきましょう。また、チャイム着席や綺麗な後片付けなど、当たり前に行えることをおろそかにしないよう気をつけて下さい。